

日野市バランスシートを作成

バランスシートとは、ある一定の時点で保有するすべての資産、負債等の状況をひとつの表に表したものです。表の【借方】は、市が所有する土地や建物、預金や現

金などの「資産」を表しています。また、【貸方】は、借金である地方債などの「負債」と「正味資産」（企業会計でいう「資本」）を表しています。

バランスシート（普通会計）（平成16年3月31日現在）（単位：億円）

借 方：資金の使い道		貸 方：資金の調達方法	
【資産の部】		【負債の部】	
1. 有形固定資産合計	1,482	1. 固定負債合計	361
市庁舎、保育園、公園、学校施設、体育館などの土地・建物・設備等		地方債（元金）のうち平成17年度以降に返済する必要がある金額、及び年度末に在籍している職員が全員退職したと仮定した場合の合計金額	
2. 投資等合計	146	2. 流動負債合計	69
財団法人等への出資金・貸付金、特定目的に使用するために積み立てた基金		地方債（元金）のうち平成16年度中に返済する必要がある金額	
3. 流動資産合計	54	【正味資産の部】	
将来の資金不足に備えるための基金、及び年度末までに支払ってもらえなかった税金等		資産の合計額から負債の合計額を引いた残額。 （国庫支出金、都支出金、一般財源）	
資産合計	1,682	正味資産合計	1,252
		負債・正味資産合計	1,682

これからの世代が負担しなければならぬ金額
今までの世代が負担した金額

平成15年度行財政改革の取り組み

●財源確保及び経費削減実施額

項 目	金 額
財 源 確 保	71,055
国民健康保険税・負担割合の改正	27,000
国・都支出金等の確保	18,200
遊休地の貸付・不用財産の処分	12,804
その他（公共下水道早期切替の促進、臨戸徴収による市税等滞納整理など）	13,051
経 費 の 削 減	145,975
<事務事業の見直し>	73,181
工事費等の諸経費の見直し	14,957
入札・契約手続きの改善	13,900
土地開発公社借入金の借換えによる利子削減	13,626
福祉給付事業の見直し	9,070
経済効率を重視した設計	8,030
その他（公共施設修繕費等の節減、福祉事業団経費の見直し、日野山荘の季節開設など）	13,598
<職員給与及び定数の見直しなど>	72,794
給与・手当等の見直し	50,594
職員定数の削減（25人）	22,200
合 計	217,030

推進担当

（単位：万円）

厳しい財政状況が続く中、平成11年8月に平成20年度までの10年間で改革・改善すべき第2次行財政改革大綱を策定し、具体的な改革・改善目標に取り組んで来ましたが、平成15年度の実施状況は左表のとおりです。

が、検証の取りまとめが終了後、更に効率化するた運営をするたに、平成16年度をもつて第2次行財政改革大綱を終了し、新たに平成17年度から第3次行財政改革大綱を策定する予定です。

平成16年度上半期予算執行状況

一般会計予算の当初予算は、497億4千100万円でしたが、6月と9月に2回の補正を行い、10億4千580万円増の507億8千680万円となりました。予算額に対する収入率及び執行率は下表のとおりです。

●補正予算による主要な事業

事業	（単位：万円）
新選組フェスタ関連事業	4,396
（仮称）特別養護老人ホームあすなろ建設費補助金	3,390
小児初期救急事業経費	2,900
児童手当経費	14,965
認証保育所経費	7,173
日野宿400年記念事業経費	3,800

●平成16年度各会計別予算執行状況（平成16年9月30日現在）（単位：円）

会 計 名	予算現額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
一 般	50,894,049,000	23,088,146,261	45.4%	19,244,136,266	37.8%
国 保	11,261,622,000	4,344,958,226	38.6%	5,001,716,834	44.4%
土 地 区 画	4,772,013,000	206,165,317	4.3%	152,527,060	3.2%
下 水 道	6,156,157,000	1,931,498,519	31.4%	2,155,774,685	35.0%
受 託 水 道	1,968,457,000	688,911,296	35.0%	479,033,644	24.3%
老 人 保 健	10,343,748,000	4,513,071,351	43.6%	4,422,913,309	42.8%
介 護 保 険	5,355,963,000	2,851,629,562	53.2%	2,802,578,885	52.3%
市立病院（収入）	7,574,226,000	2,578,466,088	34.0%	—	—
市立病院（支出）	7,677,550,000	—	—	3,135,582,083	40.8%

※一般会計の予算現額には、繰越明許費を含む

平成15年度決算を公表

「日野人げんき！」プランと健康増進、子育て・子育て支援、小・中学校施設整備計画の推進を重点に

平成15年度の決算は、厳しい財政状況の中、引き続き財政再建計画に沿った行財政改革遂行型予算を編成し、経費縮減を図りながら「日野いいプラン2010事業」を中

心に幅広い事業を展開してきました。広報今号では平成15年度の決算概要をお知らせします。

（財政課）

平成15年度の主な事業

●税総合システム構築準備事業…5,737万円

電算化総合計画に基づき税総合システム構築作業を行い、窓口業務のネットワーク化を図りました。

●（仮称）浅川スポーツ公園の整備…1億5,336万円
（仮称）浅川スポーツ公園を災害時の避難場所も含めた多目的広場とするため、用地の一部購入及び整備を進めました。

●小・中学校整備事業…10億9,061万円

子どもたちの安全と快適な教育環境を確保するため、小・中学校施設整備計画に基づき、耐震補強工事、トイレ改修工事等を実施しました。

●夢が丘小の整備及び教育センター開設準備…3億7,462万円

学校統廃合により統合新校として使用する夢が丘小学校の校舎・屋内運動場大規模改造及び耐震補強工事を行いました。また、統廃合により廃校となった旧高幡台小学校を教育センターとして新たに開設するための準備を行いました。

●交流センター開設事業…3,047万円

市民の交流とふれあいの場として南平駅西交流センター及び東町交流センターを開設しました。また、平成16年度開設に向け多摩平及び落川交流センターの開設準備を行いました。

●男女平等推進計画づくり及び男女平等推進センターの開設準備…414万円

日野市男女平等基本条例及び男女平等推進行動計画（素案）を策定しました。また、男女平

等推進センターを開設しました。

●高齢者支援事業…2億5,701万円

特別養護老人ホーム優先入所の仕組みづくりなど在宅高齢者ケア事業の充実や介護老人保健施設の待機者ゼロを目指して、ベッドの新設・増床によりサービスの拡充を図りました。また、地域型在宅介護支援センター（かわきた・ふれんど）を新たに設置し各地域での在宅介護支援の充実を図りました。

●障害者支援事業…10億2,690万円

身体障害者、知的障害者及び児童の支援サービスについて「措置制度」から「支援費制度」へ移行し、障害者個人の尊厳を重視した質の高いサービスが提供できるようになりました。

●子育て・子育て支援事業…2億8,303万円

日野駅前に開設した認証保育所日野ブチ・クレイシュなど、待機児ゼロを目指して、民間活力を生かした認証保育所及び民間保育所を開設しました。また、新たに子ども家庭支援センター及び児童館を開設しました。学校においては週5日制への対応など教育内容の充実を図りました。

●健康づくり推進事業…1億5,546万円

「日野人げんき！」プラン素案策定づくりを進め、マシントレーニングによる「パワーリハビリテーション」事業、さわやか健康体操事業などの健康施策を実施しました。また、乳がん検診にマンモグラフィを導入しました。

●日野駅改良・駅周辺まちづくり及び高幡不動駅周辺まちづくり…2億4,812万円

バリアフリー化を目的とした日野駅西側駅前広場の改良整備工事及び日野駅構内のエレベーター整備事業を実施しました。また、高幡不動駅周辺では高幡不動尊参道一帯（電線共同溝化、無電柱化）を整備しました。

●丘陵地ワゴンタクシー運行事業…600万円

ミニバスの運行が困難な丘陵地の交通不便地域の交通アクセス手段を確保し、定着を図りました。また、モノレールの高幡不動駅前に乗降場所を設けるなど市民の利便性の向上を図りました。

●新選組フェスタ関連事業…5千万円

NHK大河ドラマ「新選組！」の放映を機に、「新選組フェスタin日野」を開催し、まちおこしを図りました（平成16年度も引き続き事業展開中）。

●市民の雇用機会を拡大…1億656万円

長引く不況による厳しい雇用情勢の中、緊急地域雇用創出特別交付金事業などにより、市民12,788人（延べ人数）の雇用創出を図りました。

●多摩平の森ふれあい館の開設…9,802万円

公団多摩平団地の建て替えに伴い、地域の複合交流拠点として、「多摩平の森ふれあい館」（図書館、児童館、子ども家庭支援センター、男女平等センター、交流センターなどの機能を持った複合施設）を開設しました。

市債の状況

市債とは単年度予算ではまかないきれない学校の改修工事費、下水道事業費など多額の資金を必要とする事業を行う場合に、国や都、銀行などから資金の一部を借り入れて事業を行い、長期間にわたって返済する制度です。家庭でいう「借金（ローン）」に相当するものです。また、低利な市債に借り換えるなど計画的な償還とともに、新たな市債発行を極力抑え、市債残高の減少に努めていきます。

基金の状況

将来のまちづくりに備えた積立金で、家庭でいう「貯金」にあたります。景気の変動などによる財源不足に対応する財政調整基金は、平成11年度に4億9千万円まで落ち込みましたが、事務事業の見直し、人件費の削減など行財政改革を推進した結果約18億5千万円まで積み立てることができました。

基 金	15年度末現在
財政調整基金	18億5,712万円
公共施設建設基金	11億9,373万円
職員退職手当基金	11億8,706万円
環境緑化基金	8億4,653万円
平和事業基金	1億円
バリアフリー事業推進基金	1,991万円
（仮称）総合体育館建設基金	4億5,013万円
学校施設整備基金	6億392万円
土地区画整理事業基金	15億1,211万円
介護給付費準備基金	1億2,716万円
国民健康保険高額療養費貸付基金	1,000万円
国民健康保険出産産費貸付基金	500万円
合計	79億1,267万円
市民1人あたり 47,088円	

土地・建物の状況

（平成15年度末現在）

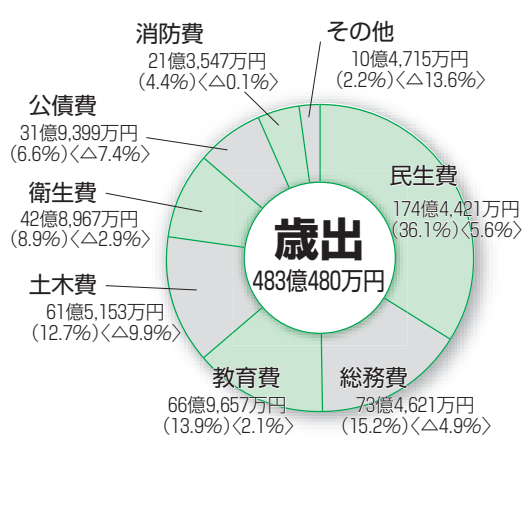
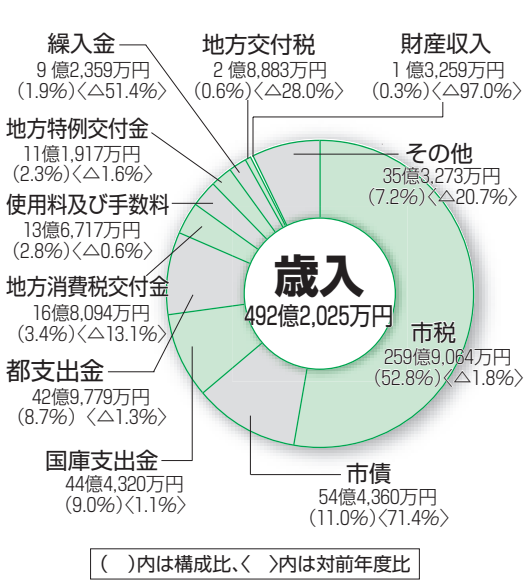
建 物	土 地
32万4千874㎡	151万9千753㎡
市役所・学校・保育園・児童遊園などの敷地・建物	

一般会計

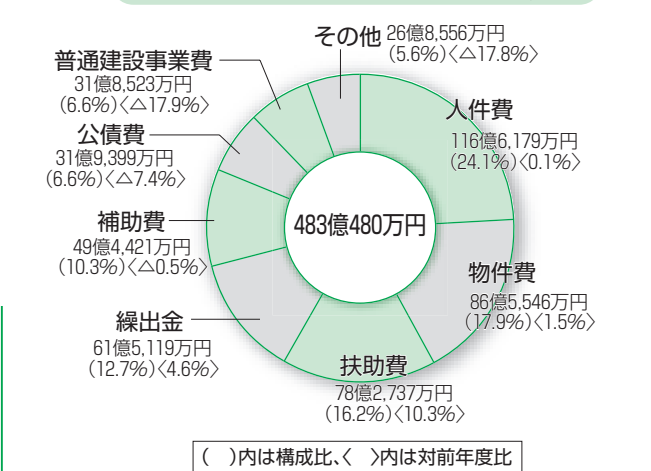
平成15年度の一般会計の歳入は492億2千25万円、前年度比0.7%（3億6千423万円）減、歳出は483億480万円、前年度比0.8%（4億1千51万円）減となり、差引9億1千545万円を16年度予算に繰り越しました。

歳入の柱となる市税については、法人市民税のやや回復はみられるものの長引く景気低迷の影響を受け、地方税全体としては6年連続減収となりました。国からの地方交付税は、普通交付税の一部を臨時財政対策債に振り替えられたことにより大幅に減となりました。地方債は、主に臨時財政対策債、土地開発公社経営健全化計画推進に伴う用地取得などにより増加しました。

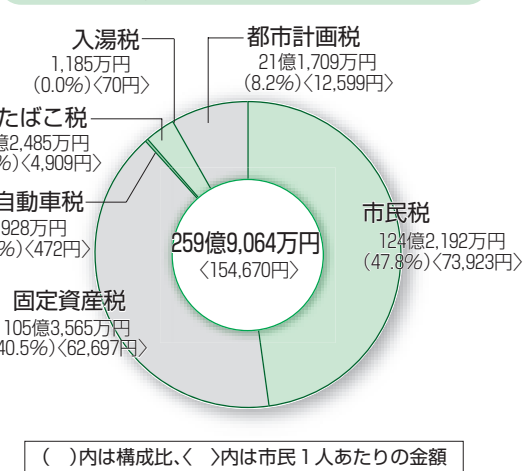
総務費は、市役所庁用車用駐車場用地の取得が完了したことなどにより3億8千万円の減となりました。民生費では、生活保護費など扶助費の伸びなどにより、9億3千万円の増となりました。衛生費では、病院事業会計出資金がなくなったこと、病院事



一般会計性質別歳出決算



市税決算と市民の負担状況



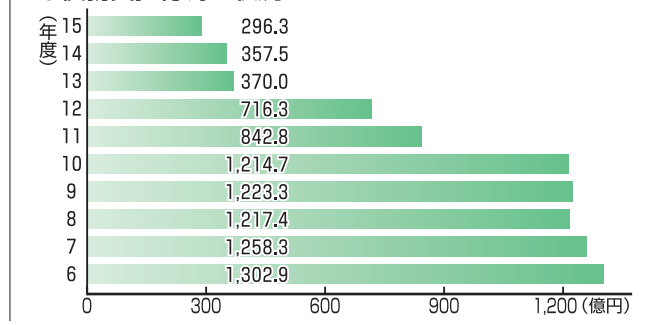
特別会計

●平成15年度 特別会計決算

会 計 別	歳 入	対前年度比	歳 出	対前年度比
国民健康保険特別会計	111億8,800万円	12.4%	110億8,115万円	12.5%
土地区画整理事業特別会計	50億6,376万円	77.8%	49億6,894万円	77.8%
下水道事業特別会計	58億3,474万円	△1.4%	57億9,353万円	△0.7%
受託水道事業特別会計	20億558万円	△13.7%	20億558万円	△13.7%
老人保健特別会計	108億6,699万円	3.7%	107億8,372万円	4.4%
介護保険特別会計	62億3,134万円	12.3%	62億3,023万円	12.6%
市立病院事業会計	66億5,126万円	21.0%	72億8,429万円	△4.2%
合 計	478億4,167万円	12.4%	481億4,744万円	8.8%

平成15年度の特別会計は、歳入総額が478億4千167万円、前年度比12.4%（52億6千584万円）の増であり、歳出総額は481億4千744万円、前年度比8.8%（38億8千365万円）の増となりました。会計別では、下水道事業及び受託水道事業会計の歳入が、市立病院事業会計の歳出がともに前年度に比べて減となり、その他全てが増額となりました。

●債務負担行為の状況



債務負担行為は、数年度にわたって行われる事業について、例外的に期間と限度額を定めて、支払いを後年度に複数年度にわたって行う負債のことで、他全てが増額となりました。

債務負担行為の状況